

## 2019年4月 大学院商学研究科 修士課程入学試験問題 専門科目

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9題のうち2題を選択すること。
4. 少なくとも1題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答えは二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. 試験開始の合図後、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名を次の数字記入例にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。

#### 【数字記入例】

正	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	C	1	2	3	4	5	6	7	8	9
誤	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
				↑			7		a	

7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の1000字のマス内（グラフまたは図を用いる場合はそれも含む）に書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。

以 上

2019年4月 大学院商学研究科  
修士課程入学試験問題 専門科目

[注意]

- ① 選択した問題番号を解答用紙左上の指定された□内に記入のこと。
- ② 選択した問題をあらためて書く必要はない。
- ③ 答案は日本語で横書きのこと。
- ④ 答案は1,000字のマス内（グラフ、図を用いる場合はそれも含む）に書くこと。
- ⑤ 答案は解答用紙の表面にだけ書くこと。

**【設問1】 経営専修 経営領域**

以下の全ての問いに答えよ。

- (1) 企業の事業戦略の類型である「コストリーダーシップ戦略」と「差別化戦略」とは何か。それを説明したうえで、資源ベース理論に基づき、「コストリーダーシップ戦略」と「差別化戦略」のそれぞれにおいて「経済的価値のある経営資源もしくは組織能力」をひとつずつあげ、その理由を説明せよ。
- (2) 企業の全社的な意思決定については、トップマネジメントチームで行われることが多い。トップマネジメントチームにおけるメンバー属性の多様性がもつ意思決定におけるメリットとデメリットをひとつずつあげ、その理由を説明せよ。

**【設問2】 マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域**

最終消費者向けのマーケティングとビジネスユーザー向けのマーケティングを分けて考えた上で、以下の質問に答えて下さい。

- (1) それぞれが対象とする製品やサービスはどう違うのか、あるいはどのように類似しているのかについて説明してください。
- (2) 最終消費者の購買意思決定と、ビジネスユーザーの購買意思決定の違いについて、説明してください。
- (3) ビジネスユーザー向けのマーケティング・コミュニケーションにおいて、さまざまな手法、媒体がどのように使われるかを、最終消費者向けのマーケティング・コミュニケーションと対比して詳細に説明してください。

**【設問3】 マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域**

貿易取引の決済に関連する次の質問に答えなさい。

- (1) 仕向送金に関する外為法令等の遵守にあたっての留意点にはどのようなものがあるか。「米国の OFAC 規制」との文言を必ず用いた上で、論じなさい。
- (2) 信用状における 2 つの原則、「独立抽象性の原則」および「書類取引の原則」のそれぞれについて論じなさい。

**【設問4】 金融・保険専修 金融領域**

以下の2つの設問に対して、2問とも解答しなさい。

- (1) 民間の株式会社である銀行に対して、多くの国では厳しい公的な監督・規制がおこなわれている。このことが正当化される事情・理由について説明しなさい。
- (2) 証券市場における証券会社の主要な業務について説明しなさい。

**【設問5】 金融・保険専修 保険領域**

保険は、伝統的なリスクマネジメントの手段として使われてきた。保険の役割と限界に関連して、次の項目を論じなさい。

- (1) リスクマネジメント
- (2) リスクコントロール
- (3) リスクファイナンス(リスクファイナンス)

**【設問6】 会計専修 財務会計領域**

- (1) 金融商品取引法監査と監査役監査の違いについて説明しなさい。
- (2) 「投資リスクからの解放」について、工事進行基準を例に用いて説明しなさい。
- (3) 「意思決定との関連性」について説明しなさい。

〔設問7〕 会計専修 管理会計領域

ある飲食店では、ランチメニューで、A、B および C の 3 種類の定食を提供している。各定食の販売単価は、直接材料費の仕入単価の 3 倍として設定している。この前提は、売上高に対して、直接材料費、加工費および営業費、ならびに営業利益が、それぞれ 1/3 ずつという飲食店の慣例にしたがっている。

各定食の収益性を検討したいと思っている店主は、飲食店の慣例にしたがい、前月の営業日 20 日間について、ランチメニューに関して 1 日当たりの平均値を計算し、〈資料〉のとおり、損益計算書と明細表を作成してみた。

〈資料〉	損益計算書			明細表		
	合計	内訳		A 定食	B 定食	C 定食
売上高	¥90,000		売上高	¥42,000	¥39,000	¥9,000
売上原価			販売単価	¥750	¥780	¥900
直接材料費		¥30,000	販売食数	56 食	50 食	10 食
直接労務費	¥40,000	¥10,000				
売上総利益	¥50,000					
営業費	¥8,000					
営業利益	¥42,000					

直接労務費は、店主とともに厨房(キッチン)で定食を作る従業員1人の人件費分である

営業費は、食堂(ホール)で食事を客に提供する従業員2人のアルバイト代のみである

材料および仕掛品ならびに完成品の在庫は存在しないものとする

〈資料〉にもとづき、問1から問5についてすべて答えなさい。

問1 各定食について、直接材料費をそれぞれ計算しなさい(計算過程は不要なので、結果の金額のみを示しなさい)。

問2 店主は、直接労務費 ¥10,000 を従業員の作業時間にもとづいて各定食にそれぞれ配賦することを考えた。A 定食と B 定食は同じ工程で両方を2時間で作っており、販売食数および作業時間はほぼ同じであったので、それぞれの作業時間を1時間ずつと考えた。C 定食は、A 定食および B 定食とは別の工程で、3時間かけて作っている。直接労務費の各定食への配賦額をそれぞれ計算しなさい(計算過程は不要なので、計算結果のみを示しなさい)。

問3 各定食について、売上高から売上原価を差引いて売上総利益をそれぞれ計算しなさい(計算過程は不要なので、計算結果のみを示しなさい)。

問4 〈資料〉および問3の計算結果をふまえて、各定食について、収益性についてそれぞれ検討したうえで、店主がどのような対策を考えるべきかを論述しなさい。

問5 各定食について、それぞれの収益性をより詳細に検討するためには、〈資料〉の損益計算書の形式をどのように変更すればよいか。とくに、店主が気づかず損益計算書に記載していない費用項目があるとすれば、どのような費用が考えられるか。できるだけ具体的に説明しなさい。

**〔設問8〕 理論・計量専修／公共経済・経済史専修      ミクロ経済学領域**

下記の効用関数に関する次の設問に答えなさい。ここでUは効用、Xは所得をあらわす。

$$U = X^2$$

$$U = X^{0.5}$$

- (1) 25%の確率で100円、75%で10000円の所得が得られるとする。このときの所得の期待値および期待効用を求めよ。その際に、期待値および期待効用という言葉について簡単に説明せよ。
- (2) 危険回避的、危険愛好的、リスクプレミアムという言葉について簡単に説明せよ。その際に、これらの効用関数に言及すること。

**〔設問9〕 理論・計量専修／公共経済・経済史専修      マクロ経済学領域**

次の設問にすべて答えなさい。

- (1) 労働市場における名目賃金の下方硬直性とはなにかについて簡単に説明した上で、この下方硬直性がおこる理由を説明せよ。
- (2) 次のコブダグラス型生産関数を考える。なお、Qは生産量、L,Kはそれぞれ労働投入量および資本投入量である。

$$Q = L^{\frac{1}{3}}K^{\frac{2}{3}}$$

このとき、労働需要関数および労働の所得分配率をもとめよ。なお、賃金および資本のレンタルコストはそれぞれw, r、生産物価格をPとあらわすこと。

— 以 上 —



